

謹賀新年・2016

# ちばしゃ通信

～新年のご挨拶～

(号外)

発行日：2016年1月1日

## 互助こそ切り札



代表理事  
宮下 裕一

新年明けましておめでとうございませす。

日頃より私たち NPO 法人ちば地域生活支援舎の運営に対しご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、現在の日本を概観する

と、今、私たちの生活は不安定さを増しているように見えます。たとえば、厚生労働省の推計によると約6人に1人の子どもが貧困状態にあるという結果が示され、また子育てに関する不安や困難を感じている保護者も少なくありません。より多様で、また身近な場所で気軽に相談できる場所が多く求められています。

今年9月には100歳以上の高齢者が6万人を超したことが公表されました。少し前の6月には、介護保険料を滞納したことによるペナルティで、介護保険サービスの自己負担が3倍になる高齢者数が、2013年度は1万人を超えたという報道もありました。

加えて、様々な困難を抱える人たちに対し直接的な支援を行う専門職である福祉・介護そして保育人材の不足は、さらに深刻化しています。

このような状況に対し、すべてを関係する専門職による支援

で解決することは困難です。公助も重要ですが、まずは日々の暮らしを近隣の人たちとの関わりの中で営み、お互いに見守り、そして必要な時にできることをしていくという、地域住民の関係性が重要になります。そこに私たちのやるべき役割を見出し、一層の努力を重ねてまいりたいと思います。更なるご支援をお願い申し上げます。

役員の皆様方には、輝かしい新春を迎えご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。私も昨年の4月1日より本会にお世話になり、役職員や沢山の地域の方々のご支援を頂きながら新しい年を迎えることが出来ました。設立から10年余りという節目の時期に、仕事をさせて頂く縁に感謝しております。また、これからの10年、地域と共に歩む法人として、何が出来るかを役員の方々と一緒に考え・行動することに、大変意義深いものを感じ、身の引き締まる思いであります。

今後の事業展開につきましては、地域の皆様方や行政・社会福祉協議会等々、本会に関係する多くの方々のご支援とお力添えを、引き続き賜りたくよろしくお願い申し上げます。

## 新たな10年にむけて



総長 施 齊  
斉 藤 操

新年明けましておめでとうございます。地域の皆様方や本会



## 鴉嶺の家(高齢・障害・児童)

一昨年、鴉嶺の家(児童)が隣に開設され、以前と同様、高齢、障害者、子どもが共に過ごせる場となりました。時々、子どもたちが遊びに来るとデレデレした顔になる利用者さんたち、その光景を見ると本当の家族のように思えます。

また、昨年は、開設10周年を迎えることができ、私たちにとつても記念すべき年になりました。今年もこれまでの取り組みを大事にしながら、地域に密着した支援を行っていただければと思います。(榎測)

## ぽけっと

明けましておめでとうございます。昨年は念願の学生アルバイトさんを迎える事ができ、また、時折大学生のボランティアさんも来て下さり、若いパワーで子ども達と、たくさん遊んでくれました。どの子にも全力で接する彼らを見て私たちスタッフ

フのやる気スイッチも全開。

今年はさらに、その子らしさや育ちを大切にしながら、より充実した支援をしていきたいと考えています。(君島)

## ハンドワーク

ハンドワークも7回目の正月を迎えました。皆さんはどのような年を迎えられたでしょうか。去年はパン・菓子作り・ソーイングボックス・エコクラフトの雑貨作り・清掃作業・出張販売など、色々な仕事にできる力を発揮していました。

今年もの皆さんの力をお借りしながら、しっかりと就労支援を行いますので、何卒よろしくお願ひします。(相澤)

## スピリッツ

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。

外出やご自宅での支援を今年も精一杯やっていきます。本年は福祉有償運送事業も始まりま

す。障がいがある方でも気軽に出かけられる体制を整えるよう励んで行きたいと思ひます。

また、安心・信頼してもらえ、ヘルパーになれるよう何事にも一生懸命取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。(宗形)

## ると

明けましておめでとうございます。昨年までは『計画作成をする』相談支援事業所のイメージが強かったですが、これからは『相談できる』相談支援事業所を目指していきたいです。また、つながりがあまり強くなかった医療や教育、司法等とのパイプを太くし、お互いが顔の見える立場で支援を行ってきたいと思ひます。(増田)

## 五根の家

昨年中は、ご利用者をはじめ、ご家族、運営推進会議の委員の皆様、地域の皆様方には大変お世話になりました。

一年を振り返ると、運営推進会議や地域の皆様にたくさんのお声掛けを頂き、地元の天神祭や夕涼み会、各種催し物等に参加する事が出来ました。最近では、専門機関だけでなく地域からの相談も増えました。

本年もお年寄りの馴染の暮らしを大切にしながら、地域にとつて安心できる拠点となるように、スタッフ一同頑張りたいと思ひます。(黒田)

## 総務・企画

明けましておめでとうございます。利用者・ご家族の皆様とは、直接お会いする機会が少ないのですが、利用料や各種ご案内等で、日頃何かとお世話になつております。

総務・企画課は、間接的な支援とはなりますが、皆様に喜んでいただけるような支援やサービスづくりに介護・生活支援スタッフと共に取り組んで参りますので、本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。(並木)